市議会からのお知らせ

大和郡山市議会議員は政務活動費を受け取っていません

平成13年に制度化され、議員が受け取ることのできる政務調査費（現在は政務活動費）ですが、市の財政状況等を鑑み、大和郡山市議会議員は、当初から受け取っていません。

QRコードから、議会インターネット中継をご覧いただけます

1日目	2日目

※携帯電話回線で視聴する場合は、データ通信量の上限にご注意ください。
※携帯電話回線の契約内容によっては、通信料の支払いが必要となる場合があります。

1日目

認知症の予防について

林　浩史 議員

問　9月は世界アルツハイマー月間であり、この機会に認知症についての理解を深め、増え続けている認知症についての対策強化が必要である。その対策は？

答　認知症予防対策として、認知症予防教室、若年性認知症相談会、物忘れ相談会を開催し、認知症の早期発見と早期支援に努め、さらに「認知症予防ガイドブック」を作成し、各公民館や介護関係機関等へ配布するなど、認知症予防の周知に努めています。また「第2次大和郡山すこやか21計画」に基づき、「すこやか100万歩運動」やバランスの取れた食生活の確保を意図とする「ベジたべプラスキャンペーン」等を実施し、アルツハイマー型認知症の原因の一つである生活習慣病の予防に努めています。

外出支援について

福田　浩実 議員

問　①市内タクシー会社やバス会社と地域交通について協議されたことはありますか？②市域の公共交通と共にデマンド交通に対する本市の考えをお聞かせください。

答　①市域の公共交通全体について話し合いは行っていません。今後、市域の公共交通の見直しを進めるにあたり、市内タクシー事業者、バス事業者との協議は行ってまいりたいと考えています。②持続可能な公共交通ネットワークを目指す必要がある為、コミュニティバスの再編やデマンド交通の導入、また「矢田おでかけGO」といった地域の移動支援施策を上手く組み合わせていくなど種々検討を行い、移動が円滑で住みやすい大和郡山市の実現を目指し、鋭意努力していきたいと考えております。

市役所におけるジェンダーギャップについて

杉本　葵 議員

問　市役所の女性管理職の状況はどうか。女性管理職の割合が低いと思われるがその要因は何か。また、女性の活躍推進と、男女とも家庭と仕事を両立できる職場環境づくりに向けて、どのように考えているか。

答　主に本庁舎等の女性管理職の割合は13％であり、割合が低いのは職員の女性比率が28％であることが大きな要因です。市では研修や適正な配属を通じた人材育成に加え、出産・子育て期に配慮した人事管理を行っています。また、意識の多様性に対応できる前向きな職員を求めており、女性が先頭に立って職員を引っ張っている部署もあることから、女性管理職の登用も着実に進めます。

・他の質問項目：Ｗｉ－Ｆｉ環境の整備について